



おとずれ

カトリック大船教会

〒247-0056 鎌倉市大船 2-1-34

大船教会 2020 年度テーマ 「ともに祈り、ともに歩もう」

【内容】

巻頭言.....	1	お花係を募集.....	7
新型コロナウイルス感染症に対する方針..	2	信徒動静.....	8
教会委員会だより.....	3	神学生のご紹介.....	8
教会会費（月定献金）について.....	4	四旬節 祈りの日 について.....	9
臨時教会委員会の報告.....	5	聖体礼拝へのお誘い.....	9
臨時信徒代表者会議の報告.....	5	投稿紹介.....	10
各部会からのお知らせ.....	6	2020年4月の典礼と予定.....	12

巻頭言

「疫病中のご復活祭」

司祭 マルコ・ターディオフ

先日は三階の窓から覗いてみたらびっくりしました。教会の前の桜の木に花が咲いていました。普通だったら私はもっと早く気付きますが、どうも今年はコロナウイルスのことで色々考えて花が咲き始める頃を見落としました。でも人間がいくら思い悩んで振り回された思いをしても、桜の木は時期になると花が咲きます。主を信じる者なら、そこに希望の徴を認めます。復活祭が春に祝われるのは偶然のことではありません。冬の間眠りに入り、春になると生き返る大自然が遠い昔からキリストのご復活を預言してきました。そしたら主もまたこの閉じこもった、死んだような状態から私たちをも生き返らせて下さるのではないかと主に希望をかけます。

しかし、桜の木と人間は同じではありません。桜の木なら、生命がある限り春になると自然の力によって花を咲かせます。私たち人間なら、自分の力によってではなく主の力によって救われますが、主に救われるのを選ばなければ救いはありません。私だったら、ついこの疫病が「早く治って欲しいな」と言ってしまうことがあります。それはキリスト者としてふさわしくない態度ではないかと思うようになりました。結局、もとの生活に戻りたいと言う気持ちを表す言葉でしょうが、もし主がこの疫病を許されたのは、私たちをもとの生活から引き離す為

だったならば、み心に逆らうことになるのではないのでしょうか。信仰は歩みだし、大船教会共同体として「共に祈り、共に歩もう」と言うテーマに決めています。もしかしたら実際のところ、私たちはむしろ足踏みしていたから、主はこの疫病を通して私たちに「歩みなさい」と呼びかけておられるのではないかとも思われます。そしたら「救われるのを選ぶ」と言うのは「新たに歩み出す」という意味になるでしょう。

確かに今年の四旬節は以前の四旬節と違います。以前はちょっと違う典礼を行なって少し犠牲と祈りと献金をした他は、普段とあまり変わらない生活が多かったのではないのでしょうか。今年は一般社会では疫病の不安で、教会の中でごミサまでの断食で、普段の生活ができません。「主は私たちの楽しみの中でささやきますが、私たちの苦しみの中で叫びます」と言われていますが、確かに聖書から見れば、主は苦しみを通してご自分のことをあまり気にしていない人々の注目を引きつけようとされます。そしたらごミサに与れないことを嘆くより、その感じた不足を心から主を聖書のうちに尋ね求めることに切り替えたら「新たに歩み出す」ことになると思います。そうする人はこの大変な状態の中でも内面的に主の復活に与る者になります。

話が変わりますが、おとずれ号外で知らせたように、十分気を付けながら赦しの秘跡を行いますが、詳細は電話でご相談下さい。なお、外出が危ない人は家で主に罪を告白して、例えば詩篇 51 篇を唱えて主の赦しを祈り求めたら赦して頂きます。無理をしてまで教会に来なくてもいいし、状態がよくなった時に告解したらいいです。

新型コロナウイルス感染症に対する方針

大船教会では、神奈川県¹の自粛要請に従い **4月いっぱいも主日ミサの中止を継続**します。皆様、どうぞご自宅で黙想と祈りを捧げてください。

ミサに与れない状況が続きますが、横浜司教区梅村司教より「**主日のミサの義務を免除する権限は各司祭に与えられておりますが、改めて教区長として義務からの免除をいたします。**」とのご通達がありました。

- ① 4月いっぱいの主日ミサを中止します。
- ② 聖週間の典礼は、非公開で実施します。
主任司祭が代表者（シスター、地区代表者、教会委員）と執り行います。
- ③ ゆるしの秘跡は実施しております。主任司祭と個人的にご相談下さい。
- ④ 平日の早朝ミサは実施しています。（→12 ページ）
 - ・ただし、玉縄修道院と聖アンナの園の朝ミサの出席はご遠慮下さい。
 - ・マスク着用、アルコール消毒などの徹底をお願いします。
- ⑤ 活動会は原則中止です。必要な活動については主任司祭に許可を得て下さい。
- ⑥ 今後の方針は、4月25日（土）に決定します。

教会委員会だより

日時：2020年3月14日（土）10：00～11：50

場所：アンナ館集会室

出席：12名

※教会の祈りと開会の祈り※

1. 司祭および教会委員長からの報告

教区関係

- * 第5地区宣教司牧部会（2月23日）関係：
- * 金沢教会創立70周年記念祝賀会（3月22日）：中止
- * 中和田教会新聖堂建設支援：状況が落ち着いてから再開する
- * こども食堂より自習室開始の要望について：状況が落ち着いてから検討

大船教会関係

- * 3/15以降のミサ・行事・活動会の再開の可否：
- * 2020年3月15日(日)～31日(火)の教会活動：
 - 主日ミサ・行事・活動は引き続き中止（「祈りの日」も中止）
 - 平日の早朝ミサ（火木土曜日、大船教会で6:20から）は再開
 - アンナ館事務所は再開（通勤時間帯の混雑を避けるように時差を活用）
 - 活動会は原則中止。必要な活動は、個別に主任司祭の許可を得る。
 - 葬儀、納骨式、意向ミサ、病者の塗油は個別に判断
 - 復活祭のパーティーの実施・中止
 - 4月1日(水)以降は、3月28日に教会委員会を開いて検討
 - 主任司祭の復活祭に向けての聖週間等諸行事を実施への強い意向が表明
 - 「毎日祈り隊」活動としての1日3回の祈りに「メモラーレ」を用いたいという意向が示された
- * ミサ中止中のケア：
 - マルコ神父のメッセージ発信を地区ごとに地区長の判断で展開してもらう

2. 各部より報告・提案

総務部

- * 受洗者・転入者のためのオリエンテーション（5月17日予定）：
 - 対象者名簿等資料を準備

管理部

- * 雨漏り修理実施：3月4日
- * エアコンの改修予定：3月18日(雨天19日延期)
- * 4月以降に確認：
 1. 物品管理の方針(案)
 2. 資産リスト更新ご協力をお願い
 3. 対外案件(幼稚園の修繕工事)

財務部

- * 2020年2月の財務報告：資料の通り推移

典礼部

- * 聖週間の協力依頼（会衆の一部として行列に参加すること）
- * 聖復活節の協力依頼（聖なる油を受け取る式）：侍者3名

広報部

- * おとずれ発行延期と緊急対応：
 - おとずれ 2020年3月号号外発行 2月29日（土）200部
 - 印刷発行 3月14日（土）、計20ページ 200部
 - 2020年4月号は3月28日（土）→4月4日（土）発行へ変更
- * 教会ホームページ更新：
 - 「マルコ神父動画メッセージ」
- ※閉会の祈り※

3. 次回予定

臨時教会委員会を3月28日（土）10：00～（→5ページ）

※ 4月の教会委員会は4月25日（土）10：00～に変更になりました。

教会会費（月定献金）について

財務部

新型コロナウイルス感染症対策による教会活動の中止に伴い、財務部では支払等の一部業務を除き作業を停止しております。そのため教会会費につきましては入金・領収処理が出来ず、活動再開まで受入を中止しておりますのでご理解、ご協力をお願い申し上げます。

臨時教会委員会の報告

場所：アンナ館集会室

出席：11名

(場所・出席は3月1日、28日どちらも同じ)

■ 2020年3月1日(日) 10:30~11:20

コロナウイルス対策2月29日(土)~3月14日(土)の方針検討:

- ・すべてのミサ(主日ミサ・週日ミサ・初金曜日ミサ)行事、活動を中止する。
- ・教会の維持管理に関わる業務(事務・財務等)については、通常通り行う。
- ・葬儀などは執り行う。
- ・上記の期間中はアンナ館を閉鎖する。司祭が留守番を務める。

各部より報告・提案

- ・財務部：金銭の清浄性を担保できないため、ミサ献金の集金は慎重に再開検討
- ・証し部：甘夏みかん販売を実施。3月1日(日)も実施
- ・広報部：
おとずれ号外 2月29日(土)200部発行。3月号発行は3/14に延期
マルコ神父の動画メッセージ 3月1日(日)ホームページにて配信

■ 2020年3月28日(土) 10:00~12:20

コロナウイルス対策4月1日(水)~4月30日(木)の方針検討:

- ・新型コロナウイルス感染症に対する方針を決定：(→2ページ)

各部より報告・提案

- ・財務部：電気代削減の目的でガス・電気の契約を3年契約に変更する→承認

臨時信徒代表者会議の報告

日時：2020年3月28日(土) 15:00~16:40 <臨時開催>

場所：アンナ館大ホール

出席：11名

2020年4月からの教会活動について:

- ・新型コロナウイルス感染症に対する方針を報告：(→2ページ)
- ・質疑応答・意見交換

各部会からのお知らせ

教会運営の部門

財務部

*今年度2月分は順調に推移しております。

管理部

*報告事項：

納骨堂雨漏り工事(3回)が全て終わりました。

信徒会館の三階エアコン改修工事が終わりました。

祈る力を育てる部門

典礼部

*聖週間のミサについて：

①～⑥のようなバチカン典礼省の特別の指示がありました。

①聖週間の典礼は行う。(代表者のみも可)

②行列なし ③洗足式なし

④聖金曜のための聖体を聖櫃に納めてよい。

⑤火の祝福を省く

*復活徹夜祭の朗読箇所：

今年は2箇所。第3朗読：出エジプト記と第4朗読：イザヤの預言です。

*ミサ再開に関して：

司祭とミサ再開時の方針を立てました。(4月25日の教会委員会で確認)

神の愛を証する力を育てる部門

証し部

*甘夏みかんについてのご報告：

今年の販売総数は29箱でした。ご協力ありがとうございました。売上金78,300円を送金いたしました。

*東北支援「大船渡 虹の会」塩蔵わかめの申し込み：

たくさんのお申し込みを頂き有り難うございました。外出自粛等の困難な状況の中での皆様のご協力に深く感謝いたします。

5月24日(日)ミサ後に現金引き換えでお渡しする予定です(1袋450円)

*4月の予定：

4月の布切り作業、アシストフォン点検、集米、証部会は中止です。

信仰を伝える力を育てる部門**宣教司牧部**

以下の集まりは4月いっぱい中止となりました。

- *キリスト教講座：**【休講】**新講座の開講は延期。詳細は改めてお知らせします。
- *みことばを味わいなおすひととき：**【中止】**
- *聖書を読もう会：**【休講】**
- *聖書100週間：
- *マルコ神父の短期キリスト教講座：**【休講】**

広報部

*次号「おとずれ」2020年5月号発行のご案内：

発行日：4月25日（土）予定

原稿締切：4月19日（日）「広報部あて」と書いて事務室まで。

投稿には連絡先を添えてください。

折り作業：4月25日（土）14：00～16：00 予定。

その他**事務室**

*事務室員のご紹介：

2020年1月からは3名体制となりました。2020年1月時点で以下の勤務となっています。

※ PDF版では個人情報を外しております。勤務体制は印刷版でご確認ください。

**お花係を募集**

納骨堂管理運営委員会

納骨堂内お花係を募集しております。

どなた様でも参加可能です。

ご希望の方は教会事務所までご連絡お待ちしております。

信徒動静

※ PDF版では個人情報を外しております。信徒動静は印刷版でご確認ください。

神学生のご紹介

雪ノ下教会 古川神父より李神学生の職場体験実習受け入れの要請がありました。聖書講座や教会学校、教会委員会など小教区での教会活動体験をしていただくことになっています。

4月から1年間、土・日曜日に着任いただく予定でしたが、現在は司牧実習がいつからになるかはまだ確認中です。

ご挨拶

横浜教区神学生 李 宣燁



初めまして。この度、大船教会で司牧実習を行うことになりました、横浜教区の神学生、李 宣燁(イ・ソンヨブ)です。4月13日に26歳になります。よろしくお願ひ致します。

平成6年4月に韓国のソウルで生まれました。その後、父親の仕事の都合で、3歳の時に山梨県の甲府市に移り住みました。教会との繋がり高校生になってからで、高校2年生の時に甲府教会で洗礼を受けました。東日本大震災直後の2011年4月でした。

そして、高校を卒業してからの4年間は社会人として働き、2017年4月に神学院に入学し、これまでに新子安と山手で司牧実習をしてきました。そして、この4月からは神学科2年生となり、大船教会で司牧実習を行う他、4月8日の聖香油ミサで朗読奉仕者選任を受けることになります。

私の趣味は音楽鑑賞、ドライブ、旅行、サッカー観戦です。地元、山梨県のJリーグチームであるヴァンフォーレ甲府を応援しています。他に聞きたいことがありましたら、ぜひお声かけ下さい。

大船教会は初めてなので緊張していますが、神父様や大船教会の皆様に色々学びながら、これからの司祭召命に向けて歩いていきたいです。色々ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

皆様と同じ時間を共有できることを楽しみにしております。

よろしくお願い致します。

四旬節 祈りの日 について

3月8日に向けて準備してきた今年の四旬節の「祈りの日」は中止になりました。ミサ中止の中で復活祭の為の心の準備ができるように、マルコ神父は資料を作成してメールや郵送で配布されました。大船教会ホームページからも入手できますので、必要な方は下記リンク先から入手して黙想の時間にご利用ください。

資料の入手先 <https://ofuna-church.jimdofree.com/download-2020-03-29/>

疫病中の 2020 年の四旬節

主任司祭 マルコ・ターディオフ

今年の「祈りの日」の計画は新しい試みでした。ここ数年間のやり方は聖書の朗読の後で黙想の時間を設けて、その間に黙想のヒントになるような言葉を投げかけました。今回の計画は三部に分かれています。①まずは、祈りのうちに自分で聖書の箇所をゆっくり味わいながら読むことです。②続いて、質問形式のプリントを使って、その同じ箇所を繰り返して読みながらその質問に答えようとするものです。わかりにくい質問もあると思いますが、繰り返して読んでよく考えることによって、いつもよりもっと注意深く読むことになるから、新しい気づきもあります。③最後に、私の方から同じ聖書の箇所についての話を送ります。全部で聖書の三つの箇所を取り上げます。普通のミサの説教と違って、一人一人が先に聖書の箇所をできるだけ自分で理解しようとした後に聞いた話は、もっと心に響くのではないかと考えて今回の計画になりました。

準備がとても大事だから資料は2回分に分けて用意しました。1回目の分は、聖書の三つの箇所とその質問のプリントです。ご都合に合わせて三つの箇所を黙想する時間を設けて使ってください。その後に、2回目の分の資料にある聖書の三つの箇所について書いた私の話をお読みください。

聖体礼拝へのお誘い

シスター 塩谷 惇子

毎日、聖心侍女修道会玉縄修道院聖堂にて、顕示されたご聖体の前で礼拝がささげられています。

午前の部 8:00~12:00

午後の部 17:00~18:00

夜の聖体礼拝 (毎月第4土曜日)

日時: 2020年4月25日(土) 19:20~20:20

週末の夜、感謝の礼拝のひとつときをご一緒におささげしましょう。

場所: 聖心侍女修道会玉縄修道院聖堂

お問い合わせ: (電話) 0467-43-4332



投稿紹介

—「忘れないフクシマ」をわが事に—

証し部 H.I、K.I、Y.K

「クリスマスとイースターにワインを飲んで、子どもたちを応援しよう！！
—福島の子供たちのためのリフレッシュ交流プログラム—」に、いつも温かいご支援をいただきありがとうございます。これまで、原発事故により自主避難している家族と、福島で不安を抱えながら生活している家族の心身の回復を図り、放射能の心配のない環境でのびのびと保養し楽しい思い出が創れるよう企画してきました。皆様のご協力のおかげで、2019年夏休みは伊東、大磯、新潟でプログラムを実施し、多くの方が参加しました。

しかし残念なことに、2020年のイースターワインはコロナウイルス対策によるミサ中止により、教会でお渡しすることができなくなりました。こうなって改めて感じたことは、ウイルス禍も大変ですがいつかは終息することに比べて、放射能汚染は10年近く経っても未だ全面解決は遠く、莫大な処理費用と後世に深い憂いを残すということです。それほどの一大事を福島の人々だけに負わせて、既に過去のこととして忘れ、わが事にしてこなかった私たちへの痛烈な回心のときだとも受け止めたいと思います。

プログラムは継続していきたいので、今回はEメールかFAXでお申し込みいただければ幸いです。寄付ボックスも設置予定ですので、引き続き温かいご支援をよろしくお願い致します。(聖堂入口にチラシが置いてあります。)

Eメール：clckirakirawine311@yahoo.co.jp

FAX:04-7153-4892

問い合わせ：080-1077-8739(水曜 12時～17時)

きらきら星ネット避難者支援デスク

【原稿募集】 新型コロナウイルス渦中、ミサ中止のため大船教会の信徒が顔を合わせられない状況が続きます。教会から信徒の皆様への発信は続けていますが、皆様が今どんな思いで過ごされているか、原稿を集めて文集のように纏めたら分かち合いができるのではと主任司祭に提案して承りました。そこで、下記の原稿の募集をさせていただきます。どうぞ、ご協力をお願いします。(教会委員長)

テーマ：「私はキリスト者として、この時期をどう生きているか」(主任司祭案)

文字数：1200字以内 必須事項：氏名、所属地区(匿名掲載は可) 締切：4月30日

提出先：手書き原稿は、連絡先を添えて事務室までFAXか郵送して下さい。パソコンで書かれた原稿は、右のアドレスまでご送付下さい。catholicofuna.koho@gmail.com

脳動脈瘤塞栓手術体験②

K4地区 A.Y

入院間近に、聖歌隊で一緒のSr.中尾より、メダイと、ラファエラマリア様のお言葉集を頂きました。「苦しみがやってくる時も、喜んでいて下さい。苦しみは神の優しい御手から来るものなのですから」というお言葉に、手術の日が近づいても、全く平常心でいられました。実は、手術前日の夕方から、同室のすぐ向かいのベッドの患者が、ナースからの扱いが気に入らないとの理由で執拗なクレーマーに変身、いつ終わるともない詰問に、私は思わず制止の声を上げ、翌朝には、ナース宛てに慰めの手紙を渡しました。手術室に向かう際、婦長から「有難うございました。ナース達、泣いていました。」と、深々とお礼を言われ、晴れやかな気持ちで手術台に上りました。

前述の通り、手術の翌日は、真に快調に過ごせたのですが、翌々朝、点滴のスタンドを引きずりながら、トイレに行った帰りに、突然強烈な眩暈に襲われたのです。大声でナースを呼び、車椅子でベッドまで運ばれ、倒れ込みました。それから3日間は、食塩水の点滴のみで、殆ど飲まず食わず、眩暈は治まらず、6日間苦しみました。頭を動かすだけで吐き気がし、その度に胃がキューンと硬くなり、心臓がバクバク、冷や汗と震えが来ます。目を開けると、ベッドの柵の間から、テレビが台ごと、上下にルーレットのように回転しています。一瞬でも目を開けることが出来ません。医師によると、術後のストレスとの事でした。そして遂に自らオムツを依頼しました。おむつ交換の際も、横向きのまま、両手でベッドの柵をギュッと掴んで、体を固定しないと、滑り落ちてしまいそうな感覚になるのです。スタッフの教育は概ね良くなされていて、呼び鈴を押すと、大抵は間もなく現われ、親切な対応でした。唯、中には、作業が終わるとすぐに立ち去っていくナースもいました。「えっ？靴のままベッドに倒れ込んだのにそのままで行っちゃうの？ひどいんじゃない？」不平や怒りの感情が沸き上がり先日のクレーマーが思い出されました。それと同時にナースは、たまたま気が付かなかっただけかもしれないのに、いつしか自分も病人であることを笠に着て、実は自己本位なクレーマーになっていたことに気づかされました。一方、あるナースからは「患者さんから離れる時は、必ず笑顔でその方のお顔を見ることにしています」という言葉も聞くことが出来ました。この笑顔がどれだけ安心感と癒しをもたらしてくれたことか！そして、折しも、テレビに映し出された鈴木秀子シスターからの「神のご計画に悪い物は決して無いのです。私の祈りは、神様のお恵みがおの方に焦点が合うように、虫眼鏡の役割をしているだけなのです。」との有難いメッセージを頂き、それを境に眩暈が徐々に薄らぎ、嘘の様に楽になって翌々日には退院することが出来たのです。正に、「遂に神様が私に焦点を合わせて下さった！」と感じられた瞬間でした。日頃、介護を業とする私にとっては今回、神様が与えて下さったこの苦しみと恐怖を伴う初めての手術入院は患者の苦しみと、神の存在を身をもって感じた非常に貴重な有難い経験となりました。

2020年4月の典礼と予定

曜日	典 礼	ミサ時間	地区	予 定
3 金	初金ミサ	中止		
4 土		中止		
5 日	受難の主日（枝の主日）	中止		
9 木	聖木曜日（主の晩餐）	19：00		非公開ミサ ※1
10 金	聖金曜日（主の受難） （大斎、小斎）	19：00		非公開ミサ ※1
11 土	復活徹夜祭	19：00		非公開ミサ ※1
12 日	復活の主日	中止		
18 土		中止		
19 日	復活節第2主日	中止		
25 土		中止		教会委員会 10：00～
26 日	復活節第3主日	中止		
5/1 金	初金ミサ	4/25 判断		
2 土		4/25 判断		
3 日	復活節第4主日 （世界召命祈願の日）	4/25 判断		

※1 聖週間の典礼は、非公開で実施します。

主任司祭が代表者（シスター、地区代表者、教会委員）と執り行います。

早朝ミサ／ゆるしの秘跡

<早朝ミサ>

	月	火	水	木	金	土
時間	7：30	6：20	7：30	6：20	7：30	6：20
場所	玉縄	大船	玉縄	大船	玉縄 ※1	大船 ※2

（場所）「大船」大船教会 「玉縄」聖心侍女修道会 玉縄修道院（Tel 0467-43-4332）

早朝ミサは、実施しています。

※1 玉縄修道院の早朝ミサは、外部の方の出席はご遠慮ください。

※2 第1土曜日はアンナの園で行いますが、外部の方の出席はご遠慮ください。

第2土曜日は聖土曜日のため、朝ミサはありません。

<ゆるしの秘跡>

ゆるしの秘跡は、司祭と個人的に相談ください。

2020年4月4日発行
編集・発行 教会委員会広報部
発行所 カトリック大船教会
〒247-0056 鎌倉市大船 2-1-34
TEL:0467-46-2582 FAX:45-6955
Email ofuna-church@vesta.ocn.ne.jp
URL <http://ofuna-church.jimdo.com/>